

2022年3月11日

東日本大震災から11年を迎えて【談話】

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会
事務局長 石川 聡一郎

東日本大震災の発生から、本日で11年を迎えました。

いまだ2,523人が行方不明となっており、約3万8千人もの方々が避難生活を余儀なくされています。

政府は2021年度からの5年間を「第2期復興・創生期間」と位置づけていますが、被災地の復興はまだ道半ばであり、震災を風化させない取り組みが必要です。

政府主催の追悼式は、昨年の発生10年を節目として、今年は開催されず、また自治体の追悼行事もコロナ禍にあって中止や縮小となっています。いくら年数が経っても、被災地を訪れる機会が少なくなっても、被災地の復興への想いや、被災された皆さんへ寄り添う想いが薄れることがあってはなりません。

感染症の脅威や戦争の悲劇に直面している今こそ、その克服にむけて世界の連帯が求められます。私たちのサービス・ツーリズム産業は、平和産業として産業の振興をつうじ、人々の交流を生み出し、被災地に笑顔を届けることで、引き続き復興の一翼を担っていきたいと思います。

以 上



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会(サービス連合)

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町9-6 坂町Mビル2階

Tel:03-5919-3261 Fax:03-5919-3264 URL:<http://www.net-stu.com>